

◆カンボジアについて

字が高める成人は男性で79%、女性で55%です。かつて内戦が起きていたため学校へ行くことができなかったことが原因です。家の手伝いや、学校が遠くて通学できない子どもも多くいます。

◆ASAC (ASACカンボジアに学校を贈る会)について

1994年9月に発足した市民レベルの国際援助をしているNGOです。内戦で傷ついたカンボジアの人々や児童のために、教育分野への協力と支援活動を通じて、ともに国際平和を考え親善をはかっていく活動をしています。私たちはASACカンボジアに学校を贈る会の協力を得て学校を建設して寄贈し、カンボジアの教育に役立ててもらいたいと考えました。

ホームページ <http://www.asac.gr.jp/>

Q&A

Q.カンボジアの学校の状況は？

一層のような所に学校が建っていたり、生徒が多すぎたりと万全でないところも多くあります。農村部では学校よりも労働のほうが重視されていて、子どもを学校に行かせない家庭もあります。

Q.学校を建てることでどんな成果がありますか？

→きちんとした教育を受けることで、仕事の上で不利な契約をさせられたり、社会生活から取り残されたりすることが減ると考えています。

Q.学校を建てた後の運営は？

→S&Sプロジェクトで建てた学校は現地に寄付するので、先生の手配等はカンボジア政府のものとおこなわれます。私たちは交流や支援を続けていきたいと考えています。

「高等部 品女キティ」 発売!

S×S

S & S = サンリオと品川女子学院

S by S = School by Student

「品川女子学院の生徒がサンリオの協力を頂いて、生徒の力で発展途上国の学校の力になりたいと考え、行動した」という意味です。



定価 各700円 (含:カンボジアでの学校建設費用)

品女キティができるまで...

04年 【卒業生（現大学1年生）を中心に】

- 9月 「日経ストックリーグ」にチーム登録。（当時4年生）
- 11月 チームが選んだテーマである「キャラクタービジネス」についての調査。サンリオ内部に取材に行く。

05年

- 1月 日経ストックリーグレポート提出。
- ストックリーグメンバーを中心に、文化祭にむけ、サンリオとの協力企画「S&Sプロジェクト」始動。
- 6月 サンリオ訪問。オリジナル模付け企画交渉→実現せず。
- 7月 サンリオとの打ち合わせ。調べ学習などが続く。
- 9月 文化祭にてCSR（企業の社会的責任）をテーマに展示・発表と「当たりくじ」の実施。
- 12月 企画の収益を文庫にし、カンボジアに送る。

06年 【生徒会を中心に】

- 「S&Sプロジェクト」継続決定。
- 1月 生徒会にバトンタッチ。
- 模付け企画。サンリオに協力依頼→承諾を頂く。
- 4月 文化祭における収益についての会議がもたれる。
- 5月 サンリオ訪問。模付けの配色・プレート等打ち合わせ。
- 6月 品女キティの収益を学校建設に使うことが決まる。サンリオの内見会に招待される。
- 7月 サンプルの色の確認。
- 8月 「品女キティ」サンプル完成→量産へ。

学校建設・販売価格・販売方法について、生徒会と学校建設チーム合同の話し合い。

9月 品川女子学院文化祭「白ばら祭」にて『品女キティ』発売！

起業体験プログラムの有志団から利益を寄付していただく。

- 10月 品女キティ売り上げからの利益額の報告。高等部キティ製作決定。文化祭での利益をくり返して、学校の建て直しに繋げることに。予約で販売した人への発送。サンリオ内見会に行く。

07年 【S&Sプロジェクト委員会として】

- 6月 S&Sプロジェクト委員会として特別委員会が発足。委員を再募集。オープンキャンパスで受験生向けに販売。
- 7月 高等部キティについての話し合い。
- 8月 ASACの方を招いて懇話会。カンボジア大使館を訪問して勉強会。

9月

**品川女子学院文化祭「白ばら祭」にて
「高等部 品女キティ」発売！**



ASACの方による講演会



カンボジア大使館訪問

【全校からの有志生徒たち】

- 国際協力についての講演会。
- 発展途上国への学校建設案が提出される。
- 有志生徒募集→参加生徒が集まる。
- 「School by Student 計画」として始動。（1～5年生）
- ユニセフハウス訪問など。
- 発展途上国の学校建設について調査・訪問などの活動。利益はカンボジアの学校修復をすることに決定。カンボジアについての調べ学習。